

ペットフード等の薬事に関する適切な表記の事例集

* 数字は、「ペットフード等の薬事に関する適切な表記に関する考え方」の表と合わせています。

I 病名・症状、疾病の原因又は好ましくない意味の語句で修飾されている身体の構造・機能の記載があり、医薬品的な表記と判断される事例

病名・症状の記載がある場合

- 腎臓疾患の愛犬に
- 下部尿路疾患(FUS/FLUTD)対応
- 貧血気味の犬に
- アレルギーの症状に
- タウリンが不足すると、角膜、網膜障害を発症するおそれがあります。
- 涙やけが気になる愛犬に
- 虫歯(齲蝕)になりづらい
- 脱水時に

医薬部外品に該当する作用の記載がある場合

- 気になる体臭に
- ○○成分でお口をリフレッシュ
- 口臭・歯周病菌の原因を除去
- 消臭成分

疾病の原因の記載がある場合

- ○○成分がストレスを解消！
- 体に貯まった有害物質を排出する
- フリーラジカルの抑制
- △△成分の作用により腸内の悪玉菌の繁殖を抑えます。
- 悪玉コレステロールを減らします。
- 皮膚に寄生するカビやダニ(寄生虫・害虫)に抵抗する

身体の構造・機能の悪い状態の記載がある場合

- 目のトラブルに配慮して必要な栄養素を強化
- 骨と関節の衰えを考えて
- 弱りがちな関節に配慮
- かゆがっている子に
- 皮膚の乾燥
- 老化予防に
- △△成分が食欲の低下した猫の食欲増進に寄与します。
- 肥満防止・減量に役立つ栄養組成
- 病中・病後・術後
- 虚弱な胃腸

- デリケートな被毛
- 痛んだ爪や肉球に
- 痛めた喉(気管支・肺)
- 肥大した心臓(肝臓)
- 思わしくない腎臓(大腸・小腸)
- フケ
- 〇〇の負担に配慮
- 食欲のない
- 咀嚼機能の弱った
- 消化機能が弱い

免疫力・抵抗力の記載がある場合

- 子犬の抵抗力を考えて作りました。

血糖値やバイタルサイン(生きていることを示す兆候で、血圧、体温、**血流**等を指す)等の記載がある場合

- 血圧を安定にさせる
- 低血糖の防止に
- 体温を上げて元気になる

I-(1) 病名・症状、疾病の原因又は好ましくない意味の語句で修飾されている身体の構造・機能の記載があるが、**妥当な説明があり、直ちに医薬品的な表記と判断されない事例**

- ① 病名・症状については、総合栄養食の主な栄養成分を調整し、病名又は症状に対応した療法食(食事療法食、特別療法食)であることが明記され、「対応、管理、配慮(ケア)」、これらの同意語が使用されている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
➤ <u>腎臓病</u> に対応した療法食です。	➤ <u>腎臓病</u> に対応し、 <u>△△の含有量を減少させた療法食</u> です。
➤ <u>減量を必要とする犬に配慮した療法食</u> です。	➤ <u>減量を必要とする犬に配慮して、脂肪を制限しカロリーを低くした療法食</u> です。
➤ <u>術後のペットの体重回復に</u>	➤ <u>術後のペットの体重回復のため、高カロリーにした療法食</u> です。
➤ <u>下部尿路疾患</u> の管理のために、 <u>△△の含有量を調整し、尿 pH を下げました。</u>	➤ <u>下部尿路疾患の管理のため、△△の含有量を調整し、尿 pH を下げた療法食</u> です。

改善効果を明示しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例

<p>➤ お腹が弱く下痢になりやすい犬の改善効果を期待して、△△の含有量を調整した療法食です。</p>	<p>➤ お腹が弱く下痢にやりやすい犬の栄養補給に配慮して、△△の含有量を調整した療法食です。</p>
---	---

- ② 尿石(ストルバイト尿石/シュウ酸カルシウム尿石)について、総合栄養食の主な栄養成分を調整し尿石の形成成分となるものを少なくしていること、又は総合栄養食の主な栄養成分を調整して、尿pHを調整することで尿石の結晶化をしづらくしている旨の妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮(ケア)、形成しにくくする」、これらの同意語が使用されている場合

説明が不足しており、医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
<p>➤ 尿石の形成に配慮 (理由: 医薬品的効果によって尿の pH を調整した可能性が否定できない。)</p>	<p>➤ <u>ミネラル成分を調整し、尿石の形成に配慮</u></p>
<p>➤ 尿pHを調整し、尿石の形成をしにくくします。</p>	<p>➤ <u>ペットフード中に通常含まれるアミノ酸などのバランスを調整することで、尿pHを調整し、尿石の形成をしにくくします。</u></p>
<p>➤ 尿石対応</p>	<p>➤ 尿石対応 <u>マグネシウムの含有量を調節し、尿石の形成を抑えます。</u></p>
<p>➤ 尿の pH 管理</p>	<p>➤ <u>マグネシウムを下げ、尿の pH を管理し、尿石を形成し難くしています。</u></p>

* 病名・症状にまで言及した場合は、医薬品的な効果効果と判断される。ただし、特定の疾病の動物に与えることが望ましくない場合の注意書き等を記載することは可能である。また、疾病の早期発見を促すため、補足として、猫下部尿路疾患の説明があっても構わない。(理由: 当該ペットフードの医薬品的効果効果の説明ではないため。)

* 注意書きの例

- ・本製品は、ストルバイト尿石を原因とする猫下部尿路疾患の猫には与えないください。
- ・猫下部尿路疾患の症状が出た場合は、獣医師にご相談ください。

* 下部尿路の表記内容は、尿石の表記内容と異なることに注意を要する。下部尿路に関する表記の事例は、V-(3)②を参照のこと。

- ③ 免疫(力)、抵抗力については、「健康維持による」という表現が明記されている、又はバランスよい栄養成分により健康が維持される旨の妥当な説明が明記され、「保つ、維持」、これらの同意語が使用されている場合。ペットフードの成分が直接免疫力に働きかけているのではなく、ペットフードの優れた栄養バランスでペットの体全体の健康が維持され、その結果として、本来の免疫力が保たれるという意味。

説明が不足しており、医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
<p>➤ 抗酸化成分を配合して免疫力(免疫機能)を保つ</p>	<p>➤ <u>抗酸化成分を配合し、健康を維持することにより、免疫力(免疫機能)を保つ</u></p>

➤ 本来の抵抗力を維持	➤ <u>優れた栄養バランスにより本来の抵抗力を維持</u>
-------------	--------------------------------

改善・予防の意味を含む言葉を用いており、医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
➤ ○○配合により健康を維持し、免疫力を強化	➤ ○○配合により健康を維持し、免疫力を保ちます。

* 「皮膚のバリア機能」という表現が用いられるが、皮膚の抵抗力と解釈できるため、免疫力を用いるときの同様の説明が必要になる。

(例)本製品は、○○を配合し健康を維持することにより、皮膚のバリア機能を保っています。

- ④ 食物アレルギーについては、アレルゲンとなる原材料を含まないことやペプチド処理等のアレルゲンとなりにくい処理を施した旨の妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮（ケア）」、これらの同意語が使用されている場合

説明が不足しており、医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
➤ 牛肉アレルギーに対応 (理由:医薬品的効果による牛肉アレルギーの改善効果を否定できない。)	➤ 牛肉アレルギーの犬に対応して、 <u>牛肉を使っていません。</u>
➤ アレルゲンになりにくいといわれる○○を使用し、 <u>アレルギー</u> に配慮 (理由:食物アレルギー以外のアレルギーへの効果を否定できない。)	➤ アレルゲンになりにくいといわれる○○を使用し、 <u>食物アレルギー</u> に配慮
➤ 食物アレルギーから皮膚の健康を守ります。 (理由:医薬品的効果による、食物アレルギーが原因となる皮膚の疾患を予防または改善する効果を否定できない。)	➤ <u>アレルゲンになりにくいといわれる○○を原材料に使用し、食物アレルギーに配慮。皮膚の健康を守ります。</u>

* アレルギー症状の改善や緩和される旨の記載は不可。

* アレルギー症状に関する一般的な注意事項を記載することは可能。

(理由:当該ペットフードの医薬品的効果効果の説明ではないため。)

《一般的な注意事項の例》

- ・本製品は肉類や卵を含むため、これらに対しアレルギーを持つ愛犬に与えた場合、かゆみ、下痢などのアレルギー反応を示すことがあるので注意してください。
- ・ダニやノミ、細菌、埃や花粉もアレルギーの原因となります。また栄養バランスの崩れによって皮膚が乾燥し、アレルギーを起こしやすくなることもあります。皮膚についてお悩みの場合は、獣医師にご相談ください。

- ⑤ 歯垢、歯石、口臭について、口腔内で消化されやすい旨の物理的特徴又は噛むことに

よる物理的作用(口臭については、着香等による物理的作用も可)について、妥当な説明が明記され、「軽減、抑える、解消」等の一定の改善・予防の表現を用いている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
<ul style="list-style-type: none"> ➤ この製品は、<u>〇〇成分が唾液の中のカルシウムを吸着することで、歯石として蓄積されるのを抑えます。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ この製品は、<u>口腔内で消化され易い〇〇を原料としている為、歯石として蓄積されるのを抑えます。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 歯垢の沈着を抑え歯の健康を維持します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>噛むことにより歯垢の沈着を抑え歯の健康を維持します。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ STPPを配合しているので、歯石が形成しにくい。 * 特定成分による歯石形成予防や口臭予防は医薬部外品の効果効果であるため、不可。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>固めのキブル(又は粒)を良く噛むことで、歯垢の沈着を抑え、歯石が形成しにくい。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>〇〇(香りがあることが一般的に分らない成分)で息さわやか</u> * 一般に「香り」であることが分からない場合は、医薬品的効果による消臭効果を否定できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>ミント(の香り)で息さわやか</u>

⑥ ストレスについて、噛むことや遊んだりすることによる物理的作用について、妥当な説明が明記され、「軽減、抑える、解消」等の一定の改善・予防の表現を用いている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
<ul style="list-style-type: none"> ➤ ストレスの溜まりやすい愛猫のストレス解消 (理由: 医薬品的効果によるストレス軽減効果が否定できない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ストレスの溜まりやすい愛猫のストレスを<u>長時間噛むことにより解消</u>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本製品は特殊な形状で、繊細な愛猫のストレスを和らげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本製品は、特殊な形状に仕上げました。<u>噛みながら楽しく遊べて繊細な愛猫のストレスを和らげます。</u>

⑦ 糞尿臭について、着香や臭いの吸着による餌や腸内容物への物理的作用について、妥当な説明が明記され、「軽減、抑える、解消」等の一定の改善・予防の表現を用いている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 〇〇成分により糞・尿臭が和らぎます。 (理由: 医薬品的効果による消臭効果が否定できない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 〇〇は腸管内の<u>臭いを吸着し</u>、糞・尿臭を和らげます。
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 尿臭に配慮し、最適な消臭成分配合 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 尿臭に配慮し、<u>腸管内で臭気を吸着</u>

	し、臭いを軽減する〇〇を配合
➤ 〇〇配合でオス猫のおしっこの臭いをきれいに	➤ 〇〇配合で尿臭を吸着し、オス猫のおしっこの臭いをきれいに
➤ 便臭に配慮し、天然〇〇成分配合 (理由:動物の機能・構造に影響を及ぼしているのか、腸内容物に働きかけているのか、明らかでない。なお、〇〇成分が、専ら医薬品として使用される成分本質である場合は、表示不可。)	➤ 天然〇〇成分が腸内の善玉菌を増やし、便臭に配慮

- ⑧ 毛玉について、食物繊維による物理的作用について妥当な説明が明記され、「軽減、抑える、解消」等の一定の改善・予防の表現を用いている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
➤ 毛玉対応	➤ 毛玉対応 食物繊維を配合することにより、毛玉の形成を抑えます。
➤ 毛玉の排出サポート	➤ 適切な量の食物繊維を配合することにより、体内の毛玉の排出をサポート
➤ ヘアボールの形成を抑制	➤ ヘアボールの形成を抑制するために食物繊維を豊富に配合。(含有量:〇%)

- ⑨ 食欲のない状態に対して、風味又は嗜好性に関する物理的特徴について妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮、気になる」等、直接的に改善・予防の意味を含まないものである場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
➤ ▲▲成分配合。食欲が落ちてきた老犬に対応したフードです。 (理由:医薬品的効果による食欲増進効果が否定できない。)	➤ 〇〇風味で食欲の落ちてきた老犬に対応したなフードです。
➤ 本製品は、食欲の落ちた愛猫に配慮しています	➤ 本製品は、嗜好性の高い原材料を使用しており、食欲の落ちた愛猫に配慮しています。

- ⑩ 咀嚼機能が弱い状態に対して、形状又は硬さに関する物理的特徴について、妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮、気になる」等、直接的に改善・予防の意味を含まないものである場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
➤ 噛む力の衰えた愛犬の為に	➤ 噛む力の衰えた愛犬の為に、本製品

	は、 <u>柔らかい〇〇</u> を使用しています。
➤ <u>顎の力の弱い猫</u> に	➤ <u>顎の力の弱い猫に、小粒な形状で噛み易く</u> しています。

- ⑪ 消化機能が弱い状態に対して、原材料等の優れた消化性について妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮、気になる」等、直接的に改善・予防の意味を含まないものである場合

説明が不足しており、医薬品的な効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
➤ 弱りがちな消化吸収をサポート (理由: 医薬品的効果による消化吸収機能の増進が否定できない。)	➤ <u>消化性に優れたタンパク質</u> を使用することにより、弱りがちな消化吸収をサポート
➤ お腹の敏感な愛犬のために <u>お腹に優しく</u> しています。	➤ お腹の敏感な愛犬のために <u>消化吸収性に優れた原材料</u> を使用して、お腹に優しくしています。
➤ <u>消化率を高め、健康な消化を維持</u> することで、糞便の量や臭いを軽減。	➤ <u>消化の良い〇〇</u> を原材料に使用することで消化率を高め、健康な消化を維持し、糞便の量や臭いを軽減。

- ⑫ 体重管理について、カロリー、脂肪又は食物繊維に関する物理的特徴について、妥当な説明が明記され、「対応、管理、配慮、気になる」等、直接的に改善・予防の意味を含まないものである場合

説明が不足しており、医薬品的な効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
➤ 愛猫の <u>肥満</u> に配慮 (理由: 医薬品的効果による痩身効果等が否定できない。)	➤ 愛猫の肥満に配慮して、 <u>低脂肪・低カロリー</u> に仕上げました。
➤ 太りやすい体質も関節の負担が増える原因の一つ。そこで、〇〇を配合し、 <u>体重管理の為に開発した製品</u> です。	➤ 太りやすい体質も関節の負担が増える原因の一つ。そこで、 <u>カロリーを〇〇kcal/〇gに抑え</u> 、 <u>体重管理の為に開発した製品</u> です。

* L-カルニチン等の成分を配合することにより、体重管理を行うかのような表現はできません。

《医薬品的な効果効果と判断される例》

- 脂肪を燃焼させる L-カルニチンを配合。
- 体重管理に配慮して、L-カルニチンを配合しました。
- 体重が気になる愛犬のために、L-カルニチン配合。
- 体重が増えた愛犬に配慮して、脂肪を〇〇%カットし、L-カルニチンを配合しました。

➤ 体重管理

- ・カロリーを〇〇kcal/〇gに低減
- ・L-カルニチン配合

➤ 太りやすい愛猫の為に低カロリーに仕上げました。

L-カルニチン配合。



(理由:右のアイコンが脂肪燃焼を標榜していると暗示できるため。)

* 体重管理に関する表現が適切に完結しており、L-カルニチンの配合との関連性がない場合は、医薬品的な表記と判断されません。

《医薬品的な効能効果と判断されない例》

- 太りやすい愛猫の為に低カロリーに仕上げました。
L-カルニチン配合。
- 体重管理のためにカロリーを〇〇kcal/〇gに低減。
L-カルニチン配合。

II 体格、年齢又は品種の特徴に起因する身体の構造・機能の状態と一緒に、改善・予防の意味を含む記載があり、医薬品的な表記と判断される事例

- 加齢に伴う犬の関節の改善
- 胴の長いコーギーの腰への負担軽減

III-(2) 体格、年齢又は品種の特徴に起因する身体の構造・機能の状態の記載があるが、「対応、管理、配慮、気になる、守る、助ける」等、直接的に改善・予防の意味を含まないものが使用されていて、直ちに医薬品的な効能効果とは判断されない事例

「健康維持による」又は「健康」という表現が明記されている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効能効果と判断される例	直ちに医薬品的な効能効果とは 判断されない例
(加齢の表現) ➤ ミネラルを〇%増強し、高齢期の衰えやすい筋肉に配慮	➤ ミネラルを〇%増強し、 <u>健康を維持することで</u> 、高齢期の衰えやすい筋肉に配慮
(加齢の表現) ➤ 最適な栄養素を配合することにより、老化初期の兆候が現れた大型犬の活力維持を助けます。	➤ 最適な栄養素を配合することにより <u>健康を維持し</u> 、老化初期の兆候が現れた大型犬の活力維持を助けます。
(加齢の表現) ➤ 抗酸化成分の〇〇〇は、 <u>アンチエイジング</u> のサポートをします。	➤ 抗酸化成分の〇〇〇は、高齢犬の <u>健康維持</u> をサポートします。
(加齢の表現) ➤ 11歳からのエイジングケア	➤ 11歳からの <u>健康維持</u> によるエイジングケア
(加齢の表現) ➤ 14歳を過ぎた高齢犬の加齢にDHAを配合し配慮しています。	➤ 14歳を過ぎた高齢犬の <u>健康維持</u> に配慮し、DHAを配合。

<p>(加齢の表現)</p> <p>➤ 加齢による関節機能の低下に配慮して、グルコサミン、コンドロイチンを配合</p>	<p>➤ 加齢による関節機能の低下に配慮して、グルコサミン、コンドロイチンを配合し、<u>健康な関節を維持</u></p>
<p>(品種の特徴表現)</p> <p>➤ 胴が長く足腰に負担がかかりやすいコーギーに<u>対応</u></p>	<p>➤ 胴が長く足腰に負担がかかりやすいコーギーの<u>健康維持に対応</u></p>
<p>(品種の特徴表現)</p> <p>➤ ダックスフントは胴が長く、椎間板を痛める割合が、他の犬種に比較して高いことが分かっています。本製品は、<u>椎間板に配慮して</u>、自主製品と比較してカルシウムを〇%増量しています。</p>	<p>➤ ダックスフントは胴が長く、椎間板を痛める割合が、他の犬種に比較して高いことが分かっています。本製品は、<u>椎間板の健康に配慮して</u>、自社製品と比較してカルシウムを〇%増量しています。</p>
<p>(品種の特徴表現)</p> <p>➤ チワワの<u>細い骨を守る</u>為に、カルシウムを〇%配合</p>	<p>➤ チワワの<u>細い骨を守る</u>為に、<u>骨の健康に配慮して</u>カルシウムを配合</p>

IV 好ましくない意味の語句で修飾されていない身体の構造・機能の名称であって、尚且つ改善・予防の意味を含むものの記載があるため、医薬品的表記として判断される事例

*「延命(生命を意図的に引き延ばす)」を暗示させる記載

- 健康を維持し、長生きを導く
- ミネラルバランスを調整することで、愛犬の長生きを約束します。
- 優れた栄養バランスで延命を願う

* 機能・構造の増強を暗示させる記載

- 目の健康を向上させる為にタウリン配合
- 滑らかな関節の形成を導きます。
- 脂質代謝が高まり、スリムなポディーを維持します。
- 消化管の働きを活発にする
- 腸内の善玉菌を増やすことで、整腸作用が期待できます。
- 食物繊維ですっきり快腸
- 愛猫の整腸に配慮して、オリゴ糖を配合
- △△糖と■ ■が腸内細菌バランスを整え、腸粘膜を保護します。
- 疲労のない体作りをサポート
- 健康な体を約束します。
- みずみずしい皮膚や被毛をもたらします。
- 歯と歯茎を強くします。
- 力強い筋肉と骨格の維持を約束します。
- 丈夫な骨(骨格・脚・腰)を形成するために、カルシウムを配合しています。

IV-(3) 好ましくない意味の語句で修飾されていない身体の構造・機能の名称であって、尚且つ改善・予防の意味を含むものの記載があり、医薬品的表記として判断されない事例

- ① あご、歯について、噛むことによる物理的作用について、妥当な説明が明記されている場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
➤ ○○成分が歯と歯茎を丈夫に鍛える。	➤ おいしく噛んで歯と歯茎を鍛える。
➤ ○○配合で丈夫な顎をもたらします。	➤ <u>固めのガムを噛むことにより</u> 、丈夫な顎をもたらします。

- V-(3) 好ましくない意味の語句で修飾されていない身体の構造・機能の名称であって、尚且つ状況により、改善・予防の意味を暗示するものは、直ちに医薬品的な効果効果と判断されない事例

- ② ペットフードのバランスの取れた栄養成分により、現在の状態が維持される範囲の表記がされている場合。具体的には、「健康維持による」又は「健康」が明記され、健康維持の範囲内と判断できる場合で、尚且つ「願う、保つ、維持、貢献、管理、配慮、気になる、守る、助ける」等、直接的に改善・予防の意味を含まない場合

説明が不足しており、 医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは 判断されない例
*「改善・予防の意味を含む」動詞は使われていないが、「健康を維持する」ことが前提として記載されていない。	
➤ 長生きを願う。	➤ <u>健康を維持し</u> 、長生きを願う。
➤ 愛犬の活き活きとした動きに貢献します	➤ <u>健康を維持し</u> 、愛犬の活き活きとした動きに貢献します
➤ ○○成分配合。愛猫の機敏な動きを助けます。	➤ ○○成分配合。愛猫の <u>健康を維持して</u> 機敏な動きを助けます。
➤ いつまでも元気でいることを願う	➤ いつまでも <u>健康で</u> 元気でいることを願う
➤ 皮膚に美しいはり艶を保ちます。	➤ <u>健康を維持することにより</u> 、皮膚の美しいはり艶を保ちます。
➤ 輝く皮膚や被毛を守ります。	➤ <u>健康で</u> 輝く皮膚や被毛を守ります。
➤ 艶やかな毛並みの維持に配慮	➤ <u>健康を維持し</u> 艶やかな毛並みの維持に配慮
➤ <u>皮膚や被毛に働きかける</u> ○○配合	➤ <u>皮膚や被毛の健康維持の為に</u> ○○配合
➤ きらきらした目の為に○○配合	➤ <u>健康で</u> きらきらした目の為に○○配合
➤ 滑らかな関節を守ります。	➤ <u>健康で</u> 滑らかな関節を守ります。
➤ 美しい歯をサポートします。	➤ <u>健康な</u> 美しい歯をサポートします。
➤ 丈夫な骨格の形成を願う	➤ <u>健康を維持することにより</u> 丈夫な骨格の形成を願う
➤ ○○を配合。お腹の調子に <u>貢献しま</u>	➤ ○○を配合。 <u>健康な</u> お腹の調子に貢献

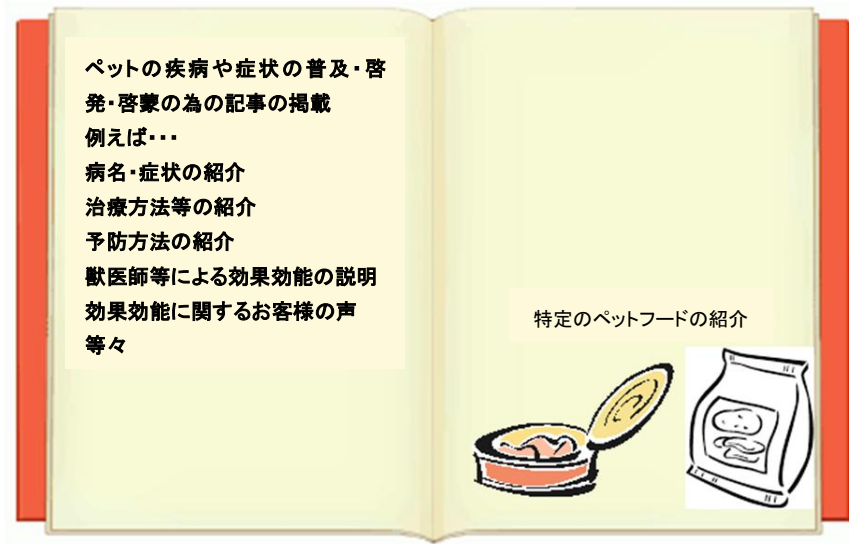
す。	します。
➤ 胃腸管理の為、総合栄養食である〇〇（製品名）を与えて下さい。	➤ 健康な胃腸管理の為、総合栄養食である〇〇（製品名）を与えて下さい。
➤ 猫下部尿路に配慮	➤ 猫下部尿路の健康維持(健康)に配慮 ➤ 猫下部尿路の健康維持(健康)に配慮し、カルシウムの含有量を抑えています。(自社比:〇%)
➤ 脂肪の代謝を助けエネルギーに変えるビタミン B ₂ 配合	➤ 脂肪の代謝の健康維持にビタミン B ₂ 配合
*「健康を維持すること」の表記はあるが、「改善・予防の意味を含む」動詞が使われている場合	
➤ 健康を維持することで、美しい(艶やかな・素晴らしい・さらさらした・柔らかな)被毛になります。	➤ 健康を維持することで、美しい(艶やかな・素晴らしい・さらさらした・柔らかな)被毛に貢献します。
➤ 乳酸菌配合により、健康を維持し、お腹の調子を整えます。	➤ 乳酸菌配合により、健康を維持し、お腹の調子を保ちます。
➤ 健康な若々しい皮膚を導く〇〇配合	➤ 健康な若々しい皮膚の為に〇〇配合
➤ 健康になりたい愛犬に	➤ 健康を保ちたい愛犬に
➤ 健康を維持することで、成犬期の機敏な動きを約束します。	➤ 健康を維持することで、成犬期の機敏な動きを助けます。
➤ 健康を維持し逞しい筋肉を形成します。	➤ 健康を維持し、逞しい筋肉に配慮しています。

④ 発達、発育、成長について、幼獣(幼犬、幼猫)に起因する旨の妥当な説明又は幼獣用フード等である旨、かつ健康維持による又は健康という表現が明記されている場合

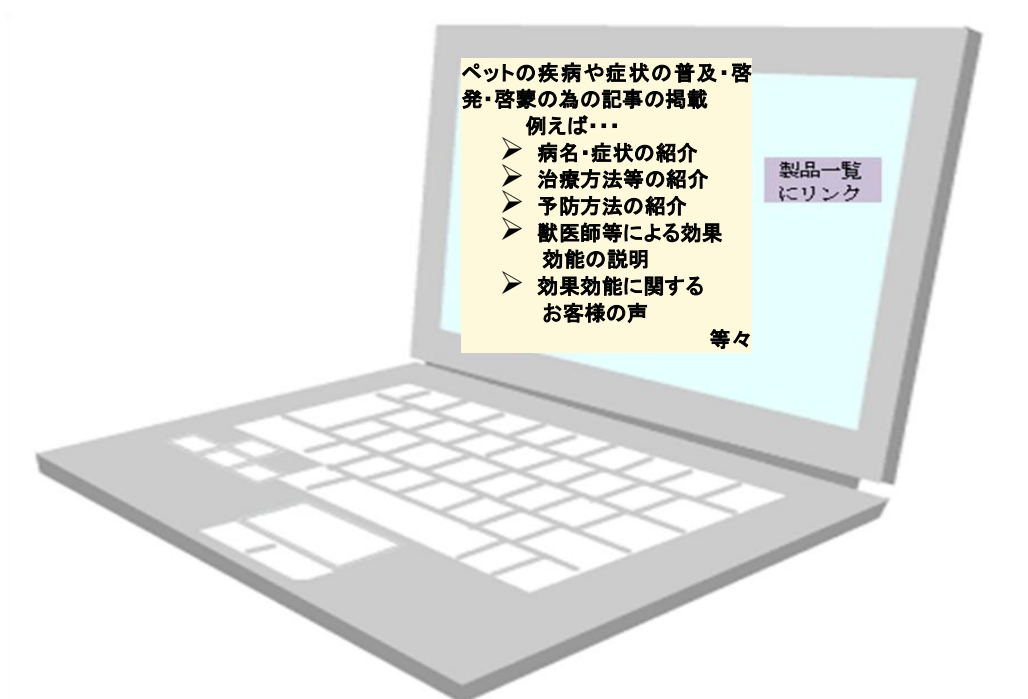
説明が不足しており、医薬品的な効果効果と判断される例	直ちに医薬品的な効果効果とは判断されない例
➤ 良質の動物性たん白をふんだんに使用し、子猫の強い骨格の発達をサポート	➤ 良質の動物性たん白をふんだんに使用し健康を維持することで、子猫の強い骨格の発達をサポート
➤ 〇〇配合で愛犬の脳の発達を願う	➤ 〇〇を配合で子犬の健康を維持し、脳の発達を願う
➤ 蛋白質を多めにしてフードに含まれるカロリーを調整するなど、愛犬の理想的な成長をサポートします。	➤ 蛋白質を多めにしてフードに含まれるカロリーを調整するなど、仔犬の健康を維持し、理想的な成長をサポートします。

その他 雑誌、Web等の広告宣伝物において薬事法（第68条）違反と判断される例

(1) 雑誌等の例



(2) Web の例



平成24年 3月 ペットフード公正取引協議会 作成
平成24年11月 改定